

みなさん、名青税に入って良かったでしょうか。名青税への入会動機も様々でしょう。名青税活動を行うことによって、何を得られるのか。また、名青税の執行部や支部役員をすることによって、何を得られるのかを、考えてみたいと思います。

今まであまり積極的に行ってこなかった名青税活動でしたが、2人の先輩からのご指名により、一昨年には名青税執行部(経理部長)に、昨年は支部役員(総務会計)として名青税に深く関わるようになりました。また、本年度は突然のことでしたが、研究担当副会長を務めさせていただいております。

名青税会員としての活動も、自分の好きなことだけをやり、後は知らん顔をすればそれでよいというわけではありません。それでは、組織としての維持・発展ができなくなります。ただし、いやいや引き受けても途中でやめてしまうかもしれません。本年度、研究担当副会長をお引き受けしたのは「自分の好きなテーマで研究活動をやってよい。」ということであり、一人でできないことであっても、名青税としてならできる。それが今年の研究部のテーマ「租税制度と租税理論」であり、さらに研究成果を本としてまとめることでした。今年の研究部は、30名を超える部員の皆さんと一緒に、苦しみながらも、楽しくやっています。

「青税」は、全青税と名青税、支部との三層構造になっています。いつもは名青税の行事か、支部活動が中心です。通常、全青税は8月の全国大会と11月のシンポジウムぐらいしか、なじみはありません。今年初めて全青税の理事となり、全青税とはどのような所なのか自分の目で確かめてきたいと思います。

名青税においても、「理事会」や「正副会長会」に参加し、そこでの議論に加わることで、今まで知らなかったことを理解し、「会員のための組織」である名青税の果たすべき役割を認識することができました。

## 「税理士の仕事と名青税」



8月5日に行われた全青税岐阜大会の総会に参加された方は、ご記憶にあるかもしれませんが、全青税理事会の案内がなぜ遅いのか、という質問に対して、「食べていくためです。」という回答がありました。会務よりも、仕事を優先しなければならないという意味です。我々税理士は、法人・個人の事業者を中心とした納税者から、決算書・税務申告書を作成してお金をもらっています。当然、名青税の会務をやっても、1円ももらえません。それどころか、個人負担となる費用がかなり発生します。このような名青税活動を行ったり、役員をすることは、得なのか、損なのか。貴重な経験や物事を成し遂げたという達成感を得ることができる代わりに、時間やお金、さらには仕事や家庭を犠牲にしているかもしれません。人それぞれの重要と考える優先順位があり、絶対正しいという答えはありません。

名青税に限らず、皆さんも色々な団体や勉強会に所属していると思います。年間数万円の会費を支払い、それで何も活動しないのはもったいない。活動をしないのなら、会をやめてしまった方がいい、という人さえます。仕事が忙しい時期に、複数の会務が重なり忙しくなってくると、正直、引き受けなければよかったと思う時もあります。自分の中で何が大事か、何を優先しなければならないのかを見極めて、これからも仕事と会務のバランスをとりながら、頑張っていきたいと思います。

名青税には「定年」があります。40才を過ぎたら、どんなにやりたくても正会員としての活動はできません。残りわずかな名青税正会員としての時間を楽しみたいと思います。みなさん、今後も名青税にご理解とご協力、各種行事へのご参加をお願いいたします。また、何事も経験ですので、役員等への打診があった時には快くお引き受け下さい。

研究担当副会長 木村幹雄(熱田支部)



# 全国青年税理士連盟 第40回 定時総会

●日時／平成19年8月5日  
●場所／長良川国際会議場



去る8月5日(日)に岐阜市の長良川国際会議場にて、全国青年税理士連盟第40回定時総会が開催されました。当日は気持ちのいい晴天に恵まれ、全国から多くの会員が長良川の美しい景色を眺めながら、会場に足を運んで頂きました。

岐阜青税の美濃島会員、宮崎会員の司会で定時総会はスタートし、来賓紹介に続き一年間会長職を全うされた城田英昭会長が挨拶されました。その表情は、一年間やり遂げたというすがすがしさが感じられる挨拶でした。

その後、議案審議にうつり、議長として東京青税倉林会員、近畿青税村田会員、名古屋青税の私片山が選出され登壇いたしました。第1号議案事業報告、第2号議案会計報告では、理事会報告が会員にされていない、また理事会案内が遅いなどの質問がありました。第3号議案役員改選では、徳田会長等推薦委員長が次期全国青年税理士連盟会長として岐阜青税の川崎賢二会員を推薦され、満場一致で承認されました。そして第4号議案事業計画、第5号議案予算では、無償独占と強制入会について、納税者権利擁護について、また組織の拡充について等、多くの会員から質問があり、とりわけ名古屋青税の会員からは川崎新執行部へのエールとしての質問が多くありました。予定時間を大幅に超過した活発な質疑応答がされ、第6号議案大会宣言を岐阜青税の深川会員が読み上げ、満場一致で承認可決されて全議案終了しました。

その後、川崎新会長の決意表明ともいえるべき挨拶がされ、これから1年間の全青税にける熱意が伝わってくる挨拶でした。そして、池田日本税理士会連合会会長、久野名古屋税理士会会長、安韓国税務士考試会会長など多くの来賓の方からご挨拶を頂き、約2時間半にわたって行われた定時総会は無事に終了いたしました。

最後に、この度初めて全青税の定時総会の議長を務めさせて頂きましたが、議長席から会場を見渡していて気づいたことは、本当に多くの会員が真剣なまなざしで各議案について審議してみえました。ほんとに多くの会員が全青税について真剣に考えているんだなと、改めて感じた定時総会でした。

総務担当副会長 片山 泰宏(西支部)

# 全国青年税理士連盟 全国大会懇親会



長良川国際会議場での総会が終わり、懇親会会場となる岐阜都ホテルへと続々と会員が集まってきました。総会会場にはこんな人数はいなかったはずなのに…。皆さん暑一中、どこへ行ったのでしょうか？

今回は、全青税40周年ということもあり、着座での懇親会となりました（例年ビュッフェスタイルが多く不便さを感じていました）。また、今年度は岐阜青税からの会長選出となったため名古屋からも多数の正会員、賛助会員の先生方の参加もありひと際、名古屋のテーブルは目立っていました。さて食事の目玉といえば、「飛騨らーめん」と「鮎の塩焼き」が屋台で振る舞われ長い列ができていましたが案の定、食べそびれてしまいました。

舞台上では艶やかな衣装をまとった子供さんたちのダンスパフォーマンスは観客を引き付けるほどのものでしたが後ろでカメラを片手に見守っていた親御さん達のまなざしには少々引いてしまいましたが、いずれ私もあのようになってしまふのかな？

最後に歴代会長の先生方のあいさつや温かい励ましをいただいて和やかにお開きとなりました。

名古屋の会員の皆様暑い中、お疲れ様でした。おせんべいを食べた先生方、来年は埼玉ですよ。またそろって行きましょう。

総務部長 礒野 道則（中支部）





## 名青税会員家族懇親会

家族旅行

去る8月19日(日曜日)、恒例の家族会が「南知多ビーチランド」にて開催されました。今回は、例年と異なり、参加者各自が現地集合し、現地解散しました。

今年の夏といえば、「猛暑」。

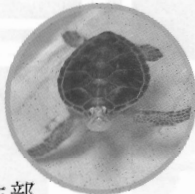
家族会当日も朝早くから太陽は容赦なく照り始め、暑〜い一日が始まりました。

参加者は、受付を済ませ、暑さ対策として厚生部員が各々持ち寄った団扇を受け取り、会場内へ入りました。

そして、全員で記念撮影の後、参加者はバックヤードツアーに参加するグループと、イルカショー見学グループに別れました。

私の家族はバックヤードツアーに参加し、まず、動物たちの食事を用意する調餌室を見学しました。飼育係の方から、「毎日お母さんが、君たちの健康を考えて、バランスのよい食べ物を作ってくれているのと同じように、おじさんたちも気をつけています。」と、餌となる数種の魚をみせながらの説明を受け、子供たちも興味深そうに聞いていました。

ここでありがたかったのが、「マイナス27℃」の餌用の冷凍庫に、しばらくの間入れさせてもらえ、一瞬暑さを忘れることができたことでした。



その後、大水槽2階に移動し、水槽で泳いだりしている動物以外にも、裏側では出番を待つ動物や、研究の為に飼育している動物がいっぱいいるとの話を聞きました。

昼食は、バーベキュー場に場所を移し、参加者全員での大昼食会となりました。

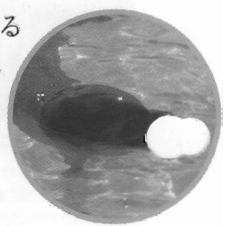
「いつも汗だくだよねえ。」「いや去年の方が煙もすごくて暑かった」などと話しながら、家族会恒例となりつつある真夏のバーベキューを、各支部に分かれて食しました。

会場ではクラウン(ピエロ)さんによるショーも行われ、子供達が目を大きく見開いて、ショーを食い入るようにみている様子や、クラウンさんからバルーンアートを受け取る時の嬉しそうな笑顔をみていると、自然とこちらの顔も微笑んでしまいました。

子供達は猛暑など関係なくランド内を動きまわり、親たちは日陰や、エアコンの効いた涼しいところに行き、ただ長くといった感じではありましたが、家族みんなで楽しく過ごすことができた一日でありました。

P.S.

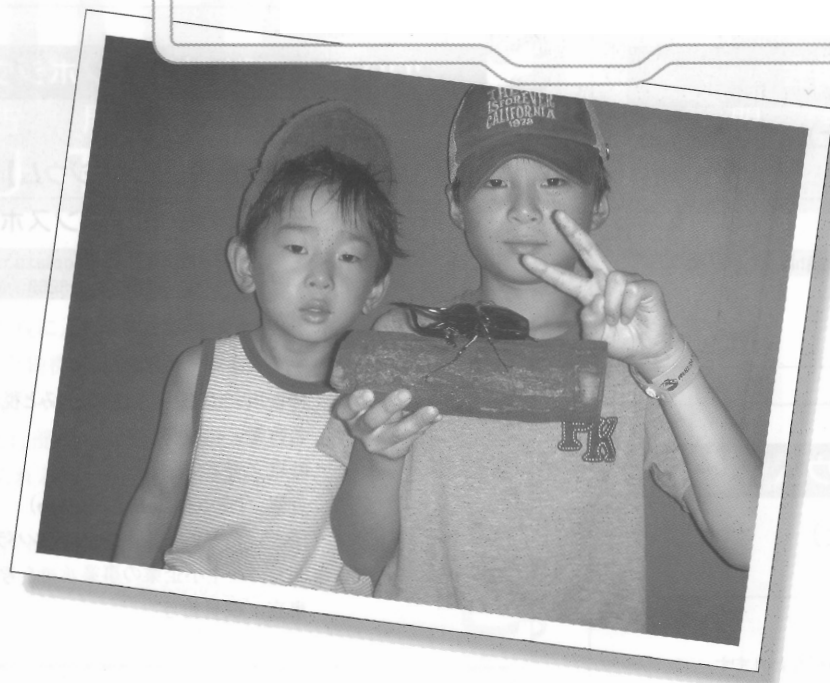
それにしても、暑かったあ。



厚生部 橋爪 淳(北支部)







# 夏休みの 思い出

今日、家族で南知多ビーチランドへ行きました。カクレマノミやナンヨウハギいろんな魚がいました。サメもいました。ドチザメやいろんなサメがいました。でも大きいサメはいませんでした。次にイルカとアシカのショーがありました。さいしょはアシカのショーで、アシカはすごいショーを見せてくれました。イルカのショーではフリスビーなげをしたけど、イルカは3回チャレンジしたけど1回もとれませんでした。

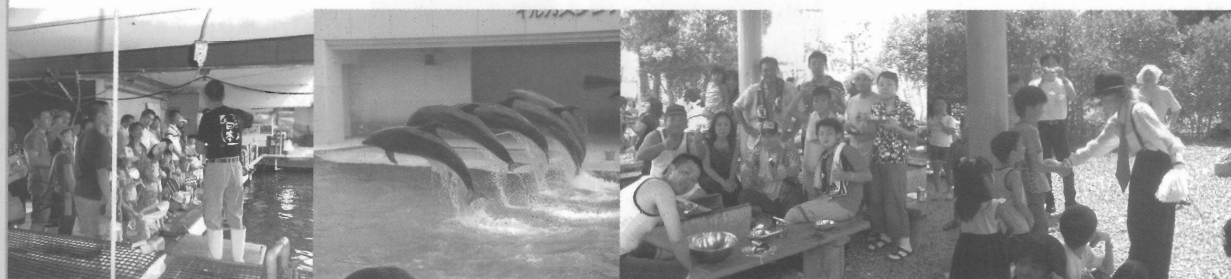
昼ごはんはバーベキューでした。おいしかったけど、すごくあつかったです。バーベキューがおわるとピエロのショーがありました。ショーがおわるとピエロが風

船でいろんなものを作ってくれました。ぼくと弟はけんを作ってもらいました。

バーベキューがおわってから世界のカブトムシとクワガタムシのふれあいコーナーへ行きました。ふれあいコーナーでは世界のカブトムシやクワガタムシをもって写真をとりました。たくさん写真がとれてすごくうれしかったです。次にイルカホールに入りました。中ではイルカが楽しそうにあそんでいました。とてもかわいかったです。

ぼくは世界のカブトムシとクワガタムシのコーナーがいちばん楽しかったです。

田中惇之介





# INFORMATION

## 名青税 会員懇親会

日 時：平成19年10月20日(土)  
17:30 集合

場 所：星ヶ丘ボウル

名古屋市千種区星ヶ丘元町16-45 <http://www.hoshigaoka.co.jp/bowl/>

名青税、みんなそろって… ストライク!!

## 名青税シンポジウム

日 時：平成20年1月26日(土)  
13:30～(予定)

場 所：税理士会ビル

制度部による組織再編に関する研究発表が行なわれます

## 2007 全青税 秋季シンポジウム

日 時：平成19年11月11日(日)  
【受付】12:00～ 【シンポジウム】12:50～

場 所：京王プラザホテル エミネンスホール

東京都新宿区西新宿2-2-1 <http://www.keioplaza.co.jp/>  
TEL 03-3344-0111 FAX 03-3345-8269

【全体統一テーマ】会社法と税務

【各単位会テーマ】千葉／事業承継と株式

神奈川／LLC及びLLPのしくみと税務

名古屋／組織再編

岐阜／資本・株式

近畿／DES (Debt Equity Swap)

埼玉／企業の存続かゴールデンバラシュートか  
～中小企業の事業承継を考える～

東京／役員給与

## 理事会報告

### 第4回理事会

日 時：平成19年7月11日  
場 所：名古屋都市センター

1. 会員家族懇親会開催の件(厚生部)
2. 事務局移転の件(総務部)
3. 全青税理事・役員承認の件(総務部)

### 第5回理事会

日 時：平成19年8月8日  
場 所：名古屋都市センター

1. 事務局移転承認の件(総務部)
2. 研究部研修会開催の件(研究部)
3. 新入会員歓迎会開催の件(組織・広報部)
4. 会員懇親会開催の件(厚生部)

### 第6回理事会

日 時：平成19年9月19日  
場 所：名古屋都市センター

1. 名青税シンポジウム開催の件(制度部)
2. 会員懇親会開催の件(厚生部)

## 編集後記

気がつけば、早くも10月です。総会から半年が経とうとしています。今年度も多くの青税行事が行なわれ、たくさんの会員の参加がありました。大勢集まるイベントでは、自分も組織・広報部の人間として写真撮影などの取材活動を楽し行なうことが出来ました。多くの人の集まり、特に懇親を深めるイベントは参加者の皆さんから発散される“わくわく”、“楽しい”のパワーが感じられます。今号も副会長、副部長そして部員の協力により、そのような雰囲気を広報誌からも発信することが出来ました。

前年度に引き続き広報誌の発行に携わり、チョットは知った気になっていた自分ですが、原稿依頼、校正などの作業を担当し「昨年はラクさせてもらえたんだな」と実感しました。次号に向けて気を引き締めてまいります。原稿を書いてくださる先生方、行事に参加している合間に写真撮る部員の方々、それらをレイアウトしてくれる印刷会社の方、そしてこれを読んでくださる皆様、これからも宜しくお願い申し上げます。

田中 聡一郎

名古屋青年税理士連盟

〒451-0045 名古屋市西区名駅二丁目27番14号 高取ビル2F  
TEL & FAX (052) 565-8039  
<http://www.meiseizei.gr.jp/>

編集責任者／組織・広報担当副会長 上條正幹  
発 行 所／名古屋青年税理士連盟 組織・広報部  
印 刷 所／有限会社真清社